

令和8年度予算見積調書

課室名: みどり自然課
担当名: 自然ふれあい担当
内線: 3156

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
N75	自然公園等管理事業費			一般会計	総務費	環境費	自然保護対策費	自然公園等施設整備費	
事業期間	昭和25年度～	根拠法	自然公園法、県立自然公園条例	針路分野施策	101003	10	豊かな自然と共生する社会の実現 生物多様性の保全	SDGsゴール SDGsターゲット	6, 15 6-6, 15-2, 15-4

1 事業概要

県民が自然公園を安全で快適に利用するために、県内の優れた自然の風景地を自然公園に指定し、保護とともに、その利用の増進を図るため、施設の整備・維持管理を行うとともに、自然公園内における開発行為等の規制を行う。

ア 自然公園管理費	37,983千円
イ 自然公園運営事務費	31千円

2 事業主体及び負担区分 (県10/10)

3 地方財政措置の状況 普通交付税(包括算定経費) (区分)企画費 (細目)環境保全対策費 (細節)環境保全対策費 (積算内容)自然公園の管理

4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1)人件費(既存分) 9,500千円×1.2人=11,400千円 (2)人件費(増員分) なし (3)組織の新設・改廃 なし

5 事業説明

(1) 事業内容

ア 自然公園管理費

自然公園内に設置した園地、歩道、公衆便所等の維持及び自然公園における開発行為の規制を円滑に行う。
自然公園内施設の維持管理(国立公園登山道15路線、首都圏自然歩道13路線、三峰ジオセンター、美の山国民休養地、両神国民休養地、嵐山県民休養地など)、自然公園施設所有者賠償責任保険、特別地域保護管理委託(4地域、7市町)、自然公園指導員研修会

イ 自然公園運営事務費

自然保護業務の円滑な推進を図るために必要な経常事務を行う。

31千円

(2) 事業計画

県が管理している自然公園施設170施設の維持管理を実施する。

・事業の目標: 施設管理瑕疵が原因の自然公園内での重大事故 ゼロ

(3) 事業効果

自然公園内における開発行為等が抑止される。また、自然公園を安全で快適に利用できることにより、多くの方の自然とふれあう機会が増大する。

・自然公園利用者数: 令和元年 21,320千人 → 令和5年 24,218千人

(4) 県民、民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況

県警山岳救助隊など関係機関と、山岳事故や登山道の状況などの安全確保に必要な情報を共有するとともに、施設維持管理等を適切に実施し、自然公園の安全確保と利用促進を図っている。

予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
	使用料・手数料							
決定額	38,014	135					37,879	2,038
前年額	35,976	135					35,841	

事業内訳書

事業名	自然公園等管理事業費		
単位事業名	自然公園管理費	予算額	37,983千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
使用料及び手数料・行政財産使用料	135	0	行政財産使用料
一般財源	37,848	2,039	
合計	37,983	2,039	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	106	△48	
需用費	1,900	179	
役務費	1,986	262	
委託料	33,835	1,600	
使用料及び賃借料	32	0	

単位事業名	自然公園管理費	予算額	37,983千円
-------	---------	-----	----------

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	124	46	
合計	37,983	2,039	

単位事業名	自然公園運営事務費	予算額	31千円
-------	-----------	-----	------

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	31	△1	
合計	31	△1	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	31	△1	
合計	31	△1	